

# ファーストサイン講座 ケーススタディルール

受講生が試験時にケーススタディ報告書を正しく提出できるよう、担当講師は授業の際に説明してください。

▶提出に関して…実技試験合格後、試験官へ郵送。

▶提出内容…

- ・表紙
- ・ケーススタディ報告書No.1（親子のプロフィール）
- ・ケーススタディ報告書No.2（プログラム用紙計3枚）
- ・ケーススタディ報告書No.3（報告1回目・2回目）
- ・ケーススタディ報告書No.4（報告3回目・まとめ）

※まとめて左上にホッチキス留めをする

▶ルール

<対象者>…

- ・お話ができるようになる前のお子様とそのママを対象とする。
- ・各ケーススタディの参加親子は、1組以上で行う。
- ・ケーススタディ3回通して参加してもらう親子が1組以上いること。
- ・家族、ファーストサイン有資格者、受講中の方をケースモデルにするのは不可。
- ・1回の教室に2組以上の親子が参加しても1ケースとする。

<開催回数・日程について>

- ・全3回開催する。
  - ・開催の間隔は中2日以上あけ、1ヶ月以内に行うこと。
- ※その間、家庭でも実践してもらうように促す。

<添付写真について>

- ・日付け入りの写真とする（日付の手書きは不可）
- ・お教室の内容や様子がわかる写真とする（親子と先生の3名が写っていること）
- ・記念写真のような内容は不可
- ・写真はレポートに貼り付ける

▶その他

- ・1回目が試験日より6ヶ月以上前のケーススタディは無効とする。
- ・報告書に不備があった場合、試験に合格してもケーススタディを再提出するまでディプロマの発行、ライセンスの発行を見合わせる。

20181114発行